

# 平成28年度 財政状況資料集

## 総括表（市町村）

都道府県名	佐賀県		市町村類型	V-O	指定団体等の指定状況		区分		平成28年度(千円)		平成27年度(千円)		区分		平成28年度(千円・%)		平成27年度(千円・%)																																																																																																																																																	
					財政健全化等	×	歳入総額	13,349,265	14,737,225	実質収支比率	5.1	3.5																																																																																																																																																						
市町村名	白石町		地方交付税種地	2-2	財源超過	×	歳出総額	12,733,252	14,354,176	経常収支比率	91.0	86.4																																																																																																																																																						
					首都	×	歳入歳出差引	616,013	383,049	(※1)	(95.0)	(91.2)																																																																																																																																																						
					近畿	×	翌年度に繰越すべき財源	206,893	104,796	標準財政規模	7,984,894	8,050,164																																																																																																																																																						
					中部	×	実質収支	409,120	278,253	財政力指数	0.34	0.34																																																																																																																																																						
人口	27年国調(人)	23,941	産業構造(※5)		過疎	○	単年度収支	130,867	-158,904	公債費負担比率	16.6	14.8																																																																																																																																																						
	22年国調(人)	25,607			山振	×	積立金	316,131	218,934	健全化判断比率	-	-																																																																																																																																																						
	増減率(%)	-6.5			低開発	×	繰上償還金	-	-	実質赤字比率	-	-																																																																																																																																																						
住民基本台帳人口(※7)	29.01.01(人)	24,010	第1次	27年国調	3,606	4,010	指数表選定	○	積立金取崩し額	354,000	357,000	連結実質赤字比率	-	-																																																																																																																																																				
	うち日本人(人)	23,875		28.3	29.7	実質単年度収支	92,998	-296,970	実質公債費比率	6.9	6.9																																																																																																																																																							
	28.01.01(人)	24,365	第2次	2.411	2,584	基準財政収入額	2,185,985	2,126,044	資金不足比率(※4)	-	-																																																																																																																																																							
	うち日本人(人)	24,263		18.9	19.1	基準財政需要額	6,626,743	6,345,883	将来負担比率	4.2	3.4																																																																																																																																																							
	増減率(%)	-1.5	第3次	6.735	6,917	標準税収入額等	2,744,914	2,635,306																																																																																																																																																										
	うち日本人(%)	-1.6		52.8	51.2	経常経費充当一般財源等	7,317,934	7,095,139																																																																																																																																																										
	面積(km <sup>2</sup> )	99.56				歳入一般財源等	9,431,865	9,700,616																																																																																																																																																										
人口密度(人/km <sup>2</sup> )	240																																																																																																																																																																	
世帯数(世帯)	7,253																																																																																																																																																																	
職員の状況																																																																																																																																																																		
特別職等	区分	定数	1人あたり平均給料月額(百円)	一般職員等(※6)	区分	職員数(人)	給料月額(百円)	1人あたり平均給料月額(百円)	地方債現在高	13,403,261	14,235,946																																																																																																																																																							
	市区町村長	1	7,760	一般職員		248	815,672	3,289	うち公的資金	12,841,824	13,419,827																																																																																																																																																							
	副市区町村長	1	6,300	うち消防職員		-	-	-	債務負担行為額(支出予定額)	1,376,591	1,482,631																																																																																																																																																							
	教育長	1	5,380	うち技能労務職員		9	27,630	3,070	収益事業収入	-	-																																																																																																																																																							
	議会議長	1	3,280	教育公務員		2	*	*	土地開発基金現在高	385,000	385,000																																																																																																																																																							
	議会副議長	1	2,740	臨時職員		-	-	-	財政調整基金	2,503,924	2,541,793																																																																																																																																																							
	議会議員	14	2,550	合計		250	824,316	3,297	減債基金	2,173,830	2,246,085																																																																																																																																																							
					ラスパイレシ指数			97.6	その他特定目的基金	3,999,061	4,256,775																																																																																																																																																							
									積立金現在高																																																																																																																																																									
<table border="0"> <tr> <td>一般会計等の一覧 項番</td> <td>会計名</td> <td>事業会計の一覧 項番</td> <td>会計名</td> <td>公営企業(法適)の一覧 項番</td> <td>会計名</td> <td>公営企業(法非適)の一覧 項番</td> <td>会計名</td> <td>関係する一部事務組合等一覧 項番</td> <td>組合等名</td> <td>地方公社・第三セクター等一覧 項番</td> <td>団体名</td> <td>(※3)</td> </tr> <tr> <td>(1)</td> <td>一般会計</td> <td>(2)</td> <td>白石町国民健康保険特別会計</td> <td>(4)</td> <td>白石町水道事業会計</td> <td>(5)</td> <td>白石町農業集落排水特別会計</td> <td>(7)</td> <td>杵藤地区広域市町村圏組合(一般会計)</td> <td>(17)</td> <td>財団法人文化振興財団</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>(3)</td> <td>白石町後期高齢者医療特別会計</td> <td></td> <td></td> <td>(6)</td> <td>白石町特定環境保全公共下水道特別会計</td> <td>(8)</td> <td>杵藤地区広域市町村圏組合(特別会計)</td> <td>(18)</td> <td>株式会社只江川スポーツパーク</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(9)</td> <td>佐賀県市町総合事務組合(一般会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(10)</td> <td>佐賀県市町総合事務組合(特別会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(11)</td> <td>佐賀県西部広域環境組合</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(12)</td> <td>杵東地区衛生処理場組合</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(13)</td> <td>佐賀県後期高齢者医療広域連合(一般会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(14)</td> <td>佐賀県後期高齢者医療広域連合(特別会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(15)</td> <td>佐賀県西部広域水道企業団</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(16)</td> <td>西佐賀水道企業団</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>																				一般会計等の一覧 項番	会計名	事業会計の一覧 項番	会計名	公営企業(法適)の一覧 項番	会計名	公営企業(法非適)の一覧 項番	会計名	関係する一部事務組合等一覧 項番	組合等名	地方公社・第三セクター等一覧 項番	団体名	(※3)	(1)	一般会計	(2)	白石町国民健康保険特別会計	(4)	白石町水道事業会計	(5)	白石町農業集落排水特別会計	(7)	杵藤地区広域市町村圏組合(一般会計)	(17)	財団法人文化振興財団				(3)	白石町後期高齢者医療特別会計			(6)	白石町特定環境保全公共下水道特別会計	(8)	杵藤地区広域市町村圏組合(特別会計)	(18)	株式会社只江川スポーツパーク										(9)	佐賀県市町総合事務組合(一般会計)												(10)	佐賀県市町総合事務組合(特別会計)												(11)	佐賀県西部広域環境組合												(12)	杵東地区衛生処理場組合												(13)	佐賀県後期高齢者医療広域連合(一般会計)												(14)	佐賀県後期高齢者医療広域連合(特別会計)												(15)	佐賀県西部広域水道企業団												(16)	西佐賀水道企業団			
一般会計等の一覧 項番	会計名	事業会計の一覧 項番	会計名	公営企業(法適)の一覧 項番	会計名	公営企業(法非適)の一覧 項番	会計名	関係する一部事務組合等一覧 項番	組合等名	地方公社・第三セクター等一覧 項番	団体名	(※3)																																																																																																																																																						
(1)	一般会計	(2)	白石町国民健康保険特別会計	(4)	白石町水道事業会計	(5)	白石町農業集落排水特別会計	(7)	杵藤地区広域市町村圏組合(一般会計)	(17)	財団法人文化振興財団																																																																																																																																																							
		(3)	白石町後期高齢者医療特別会計			(6)	白石町特定環境保全公共下水道特別会計	(8)	杵藤地区広域市町村圏組合(特別会計)	(18)	株式会社只江川スポーツパーク																																																																																																																																																							
								(9)	佐賀県市町総合事務組合(一般会計)																																																																																																																																																									
								(10)	佐賀県市町総合事務組合(特別会計)																																																																																																																																																									
								(11)	佐賀県西部広域環境組合																																																																																																																																																									
								(12)	杵東地区衛生処理場組合																																																																																																																																																									
								(13)	佐賀県後期高齢者医療広域連合(一般会計)																																																																																																																																																									
								(14)	佐賀県後期高齢者医療広域連合(特別会計)																																																																																																																																																									
								(15)	佐賀県西部広域水道企業団																																																																																																																																																									
								(16)	西佐賀水道企業団																																																																																																																																																									

(注釈) ※1: 経常収支比率の( )内の数値は、「減収補償債(特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。  
 ※2: 各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。  
 ※3: 地方公共団体が損失補償等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に○印を付与している。  
 ※4: 資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。  
 ※5: 産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、分類不能の産業を除いて算出。  
 ※6: 個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合は、「給料月額(百円)」と「一人当たり給料月額(百円)」を「アスタリスク(\*)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている)。  
 ※7: 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。

(1) 普通会計の状況(市町村)

歳入の状況(単位:千円・%)				地方税の状況(単位:千円・%)				
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分
地方税	2,197,031	16.5	2,197,031	28.5	普通税	2,197,031	100.0	-
地方譲与税	146,929	1.1	146,929	1.9	法定普通税	2,197,031	100.0	-
利子割交付金	2,586	0.0	2,586	0.0	市町村民税	964,638	43.9	-
配当割交付金	5,129	0.0	5,129	0.1	個人均等割	40,844	1.9	-
株式等譲渡所得割交付金	3,376	0.0	3,376	0.0	所得割	853,607	38.9	-
地方消費税交付金	386,657	2.9	386,657	5.0	法人均等割	32,341	1.5	-
ゴルフ場利用税交付金	1,406	0.0	1,406	0.0	法人税割	37,846	1.7	-
特別地方消費税交付金	-	-	-	-	固定資産税	963,035	43.8	-
自動車取得税交付金	23,715	0.2	23,715	0.3	うち純固定資産税	962,481	43.8	-
軽油引取税交付金	-	-	-	-	軽自動車税	91,224	4.2	-
地方特例交付金	8,081	0.1	8,081	0.1	市町村たばこ税	178,134	8.1	-
地方交付税	5,383,763	40.3	4,899,954	63.6	釧産税	-	-	-
普通交付税	4,899,954	36.7	4,899,954	63.6	特別土地保有税	-	-	-
特別交付税	483,809	3.6	-	-	法定外普通税	-	-	-
震災復興特別交付税	-	-	-	-	目的税	-	-	-
(一般財源計)	8,158,673	61.1	7,674,864	99.6	法定目的税	-	-	-
交通安全対策特別交付金	6,545	0.0	6,545	0.1	入湯税	-	-	-
分担金・負担金	270,948	2.0	-	-	事業所税	-	-	-
使用料	193,188	1.4	19,168	0.2	都市計画税	-	-	-
手数料	55,731	0.4	-	-	水利地益税等	-	-	-
国庫支出金	1,008,966	7.6	-	-	法定外目的税	-	-	-
国有提供交付金(特別区財調交付金)	-	-	-	-	旧法による税	-	-	-
都道府県支出金	1,246,548	9.3	-	-	合計	2,197,031	100.0	-
財産収入	27,181	0.2	4,792	0.1				
寄附金	264,179	2.0	-	-				
繰入金	974,300	7.3	-	-				
繰越金	383,049	2.9	-	-				
諸収入	170,957	1.3	133	0.0				
地方債	589,000	4.4	-	-				
うち減収補填債(特例分)	-	-	-	-				
うち臨時財政対策債	340,000	2.5	-	-				
歳入合計	13,349,265	100.0	7,705,502	100.0				

区分		平成28年度		平成27年度	
徴収率	現・計	99.1	97.4	99.1	97.6
(%)	年	99.2	98.2	99.2	98.4
		98.8	96.3	98.8	96.3

公営事業等への繰出		国民健康保険事業会計の状況	
合計	1,608,426	実質収支	-70,258
下水道	289,632	再差引収支	-191,362
上水道	100,455	加入世帯数(世帯)	3,393
工業用水道	-	被保険者数(人)	6,728
交通	-	被保険者	133
国民健康保険	277,671	1人当り	146
その他	940,668	保険料(料)収入額	354
		国庫支出金	146
		保険給付費	354

(注釈)  
 普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、  
 単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

歳出の状況(単位:千円・%)					
目的別歳出の状況(単位:千円・%)					
区分	決算額(A)	構成比	(A)のうち普通建設事業費	(A)のうち充当一般財源等	
議会費	129,621	1.0	-	129,621	
総務費	1,897,544	14.9	8,329	1,479,792	
民生費	3,794,246	29.8	46,001	2,159,164	
衛生費	782,167	6.1	43,268	651,341	
労働費	2,095	0.0	-	95	
農林水産業費	1,779,178	14.0	678,190	962,420	
商工費	142,241	1.1	3,092	82,778	
土木費	844,013	6.6	532,350	359,179	
消防費	516,167	4.1	44,602	473,409	
教育費	1,259,137	9.9	212,559	944,868	
災害復旧費	5,603	0.0	-	4,825	
公債費	1,581,240	12.4	-	1,568,360	
諸支出金	-	-	-	-	
前年度繰上充用金	-	-	-	-	
歳出合計	12,733,252	100.0	1,568,391	8,815,852	

性質別歳出の状況(単位:千円・%)					
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率
義務的経費計	5,737,383	45.1	4,444,285	4,410,119	54.8
人件費	2,312,133	18.2	2,125,089	2,091,153	26.0
うち職員給	1,482,132	11.6	1,303,000	-	-
扶助費	1,844,010	14.5	750,836	750,606	9.3
公債費	1,581,240	12.4	1,568,360	1,568,360	19.5
元利償還金	1,581,102	12.4	1,568,222	1,568,222	19.5
内 うち元金	1,421,685	11.2	1,408,805	1,408,805	17.5
訳 うち利子	159,417	1.3	159,417	159,417	2.0
一時借入金利子	138	0.0	0	138	0.0
その他の経費	5,421,875	42.6	3,955,336	2,907,815	36.1
物件費	1,721,007	13.5	1,176,633	839,545	10.4
維持補修費	61,409	0.5	55,365	42,867	0.5
補助費等	1,477,902	11.6	1,066,928	810,298	10.1
うち一部事務組合負担金	617,704	4.9	610,158	512,642	6.4
繰出金	1,507,971	11.8	1,325,667	1,197,614	14.9
積立金	584,095	4.6	313,252	-	-
投資・出資金・貸付金	69,491	0.5	17,491	17,491	0.2
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-
投資的経費計	1,573,994	12.4	416,231	-	-
うち人件費	33,502	0.3	33,502	-	-
内 普通建設事業費	1,568,391	12.3	411,406	-	-
うち補助	796,096	6.3	106,610	-	-
うち単独	683,162	5.4	219,068	-	-
災害復旧事業費	5,603	0.0	4,825	-	-
失業対策事業費	-	-	-	-	-
歳出合計	12,733,252	100.0	8,815,852	-	-

(2)各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率（市町村）

平成28年度 佐賀県白石町

一般会計等の財政状況(単位:百万円)

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
1 一般会計	13,349	12,733	616	409	974	13,403	
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
41							
42							
43							
44							
45							
46							
47							
48							
49							
50							
51							
52							
53							
54							
55							
56							
57							
58							
59							
60							
61							
62							
63							
64							
65							
66							
67							
68							
69							
70							
71							
72							
73							
74							
75							
76							
77							
78							
79							
80							
81							
82							
83							
84							
85							
86							
87							
88							
89							
90							
91							
92							
93							
94							
95							
96							
97							
98							
99							
100							
101							
102							
103							
104							
105							
106							
107							
108							
109							
110							
111							
112							
113							
114							
115							
116							
117							
118							
119							
120							
121							
122							
123							
124							
125							
126							
127							
128							
129							
130							
131							
132							
133							
134							
135							
136							
137							
138							
139							
140							
141							
142							
143							
144							
145							
146							
147							
148							
149							
150							
151							
152							
153							
154							
155							
156							
157							
158							
159							
160							
161							
162							
163							
164							
165							
166							
167							
168							
169							
170							
171							
172							
173							
174							
175							
176							
177							
178							
179							
180							
181							
182							
183							
184							
185							
186							
187							
188							
189							
190							
191							
192							
193							
194							
195							
196							
197							
198							
199							
200							
201							
202							
203							
204							
205							
206							
207							
208							
209							
210							
211							
212							
213							
214							
215							
216							
217							
218							
219							
220							
221							
222							
223							
224							
225							
226							
227							
228							
229							
230							
231							
232							
233							
234							
235							
236							
237							
238							
239							
240							
241							
242							
243							
244							
245							
246							
247							
248							
249							
250							
251							
252							
253							
254							
255							
256							
257							
258							
259							
260							
261							
262							
263							
264							
265							
266							
267							
268							
269							
270							
271							
272							
273							
274							
275							
276							
277							
278							
279							
280							
281							
282							
283							
284							
285							
286							
287							
288							
289							
290							
291							
292							
293							
294							
295							
296							
297							
298							

### (3) 市町村財政比較分析表(普通会計決算)

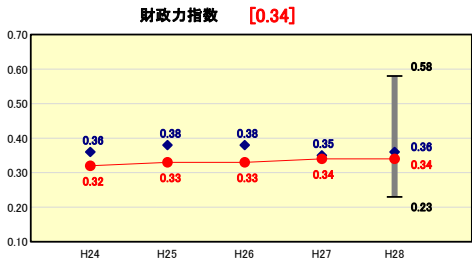
人口	24,010	人(H29.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	23,875	人(H29.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	99.56	km <sup>2</sup>	実質公債費比率	6.9	%
歳入総額	13,349,265	千円	将来負担比率	4.2	%
歳出総額	12,733,252	千円	市町村類型	H24 V-O H25 V-O H26 V-O	
実質収支	409,120	千円	(年度毎)	H27 V-O H28 V-O	
標準財政規模	7,984,894	千円			
地方債現在高	13,403,261	千円			



※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
 ※平成28年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出してない団体については、グラフを表記しない。  
 ※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。  
 ※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。  
 ※住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。  
 ※類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成28年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。

#### 財政力

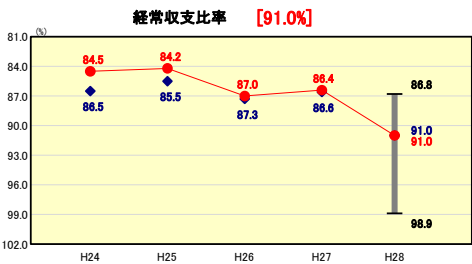
類似団体内順位 3/5 全国平均 0.50 佐賀県平均 0.51



第1次産業が主体の農村地帯であり、法人数が少ないため法人町民税が少ないことが、類似団体、全国平均及び県平均と比較して下回っている要因である。  
 今後も、企業進出の予定等は多数数値の改善は見込めないものの、収納率の強化や人口流出抑制により自主財源の確保に努め、事業の取捨選択、事務事業の見直し等の行財政改革により財政健全化を図る。

#### 財政構造の弾力性

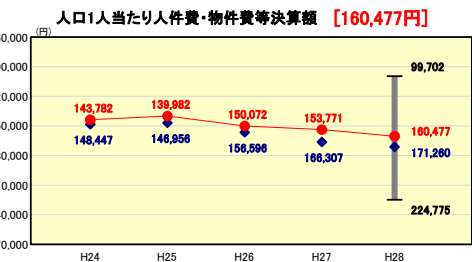
類似団体内順位 4/5 全国平均 92.5 佐賀県平均 90.3



分子となる経常経費充当一般財源が、補助費等の増加により増加したのに対し、分母となる経常一般財源等が、合併算定替の遞減による普通地方交付税の減少、臨時財政対策債の減少により減少したため、前年度より4.6ポイント悪化した。

#### 人件費・物件費等の状況

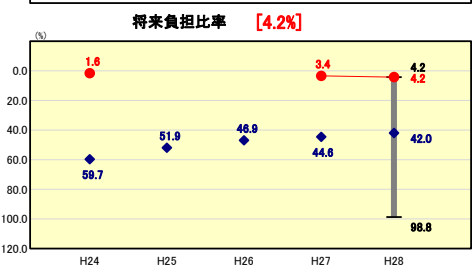
類似団体内順位 2/5 全国平均 123,135 佐賀県平均 128,193



人件費は前年度より減少したものの、物件費がふると納税(寄附)者に対する町特産品の配送委託料の増加に伴い増加したため、前年度より6,706円増加した。類似団体平均よりは低い数値だが、全国平均及び県平均と比較すると高い状況にある。

#### 将来負担の状況

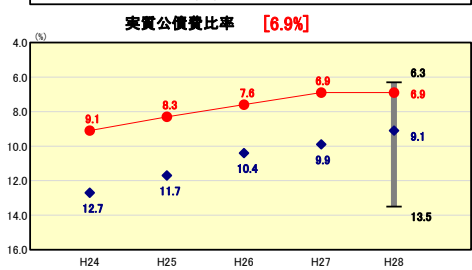
類似団体内順位 1/5 全国平均 34.5 佐賀県平均 10.0



下水道事業の進捗に伴い、下水道会計での借入金が増加したことで、一般会計からの繰出しが増加したことにより、前年度より0.8ポイント上昇した。  
 今後も、毎年の起債事業に加え、平成31年度に国営筑後川下流白石土地改良事業の繰上償還を行う予定のため、起債や基金取崩しを行う予定であることから、比率は上昇する見込みである。

#### 公債費負担の状況

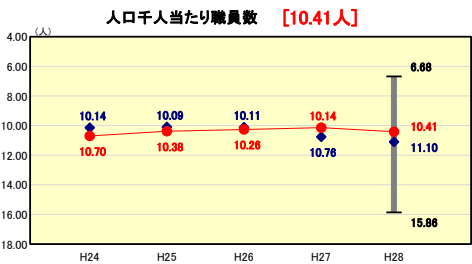
類似団体内順位 2/5 全国平均 6.9 佐賀県平均 8.4



町の方針として、地方債借入額の抑制に取り組んできたことから、平成27年度まで比率は改善傾向であったが、平成28年度においては前年度と同率となった。平成27年度に国営筑後川下流白石土地改良事業の繰上償還のため多額の起債を行ったことにより、その元利償還金が大きく増加し、同様の繰上償還を平成31年度にも予定していることから、比率は今後再び上昇する見込みである。

#### 定員管理の状況

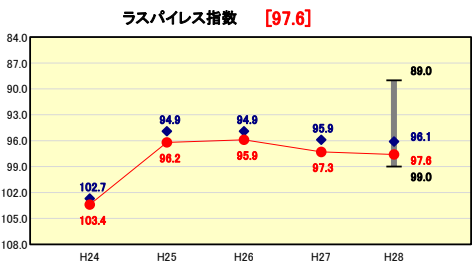
類似団体内順位 2/5 全国平均 7.90 佐賀県平均 7.32



前年度より0.27ポイント上昇した。  
 定員適正化計画に伴い、職員数の削減は進んでいるものの、町の人口の減少率が大きく、効果が表れにくい。  
 引き続き、計画に基づき職員数の削減を進めていく。

#### 給与水準 (国との比較)

類似団体内順位 3/5 全国市平均 99.1 全国町村平均 96.4



職員構成の変動等により、前年度より0.3ポイント上昇した。類似団体平均及び全国平均と比較しても高い状況にあるため、より一層の給与の適正化に努める。

# (4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成28年度

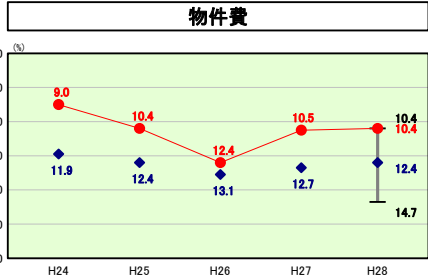
佐賀県白石町

## 経常収支比率の分析

人口	24,010	人(H29.1.1現在)	実収赤字比率	-	%
うち日本人	23,875	人(H29.1.1現在)	運実収赤字比率	-	%
面積	99.56	km <sup>2</sup>	実収公債費比率	6.9	%
歳入総額	13,349,265	千円	将来負担比率	4.2	%
歳出総額	12,733,252	千円			
実収収支	409,120	千円	市町村類型	H24 V-O H25 V-O H26 V-O	
標準財政規模	7,984,894	千円	(年度毎)	H27 V-O H28 V-O	
地方債現在高	13,403,261	千円			



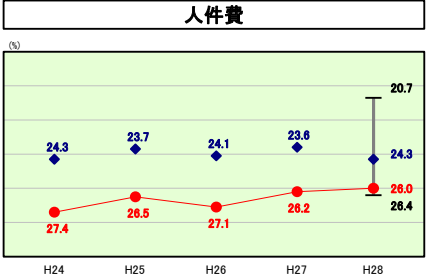
※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
 ※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成28年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。  
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成28年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



類似団体内順位 1/5 全国平均 14.8 佐賀県平均 12.6

**物件費の分析値**

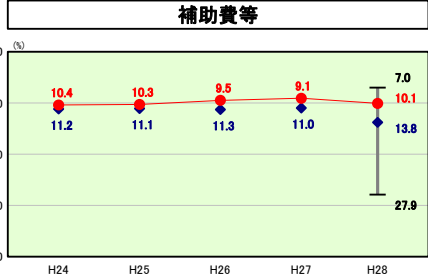
比率は前年度からほぼ横ばいである。平成27年度から公設民営保育園が6園となり、保育士等賃金や給食賄材料費が減少したが、平成28年度も同様の状況となった。



類似団体内順位 4/5 全国平均 23.7 佐賀県平均 23.5

**人件費の分析値**

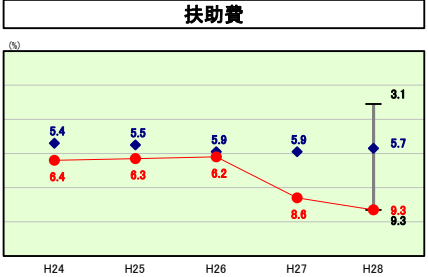
前年度より0.2ポイント減少したが、類似団体、全国平均及び県平均と比較して高い状況が続いている。定員適正化計画に基づき、職員数の削減は進んでいるものの、他団体よりも多い状況である。今後も職員数の適正化に努めていく。



類似団体内順位 3/5 全国平均 10.4 佐賀県平均 11.0

**補助費等の分析値**

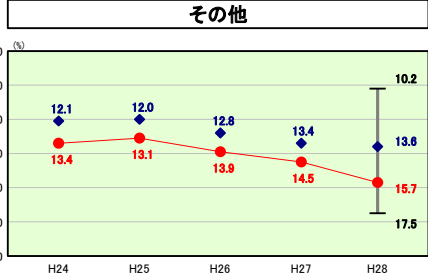
横ばいの状況が続いている。消防やごみ処理といった一部事務組合への負担金等は今後と同規模の負担が続いていく見込みであるが、し尿処理施設及び葬祭公園建設のための負担金が大きく増加する見込みである。



類似団体内順位 5/5 全国平均 12.4 佐賀県平均 10.9

**扶助費の分析値**

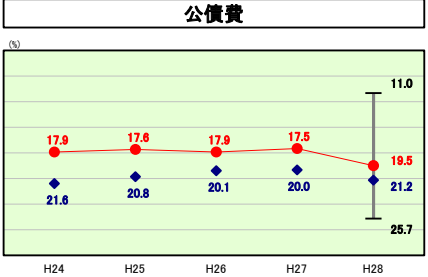
平成27年度から公設民営保育園が6園となったことに伴う運営費委託料の増加等で、前年度より0.7ポイント増加した。今後も、子育て施策の充実や障害福祉費の増加が予想されることから、数値の上昇が見込まれる。



類似団体内順位 3/5 全国平均 13.5 佐賀県平均 14.6

**その他の分析値**

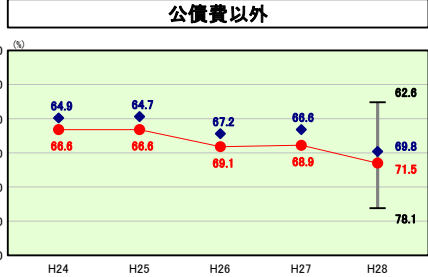
前年度より1.2ポイント増加し、類似団体、全国平均及び県平均を上回っている。介護保険や下水道事業への繰出金が増加傾向にあることが要因である。国民健康保険事業への財政的支援、介護保険給付費の増加、下水道事業の起債償還額も増加していくことから、繰出金は今後も増加する見込みである。



類似団体内順位 2/5 全国平均 17.7 佐賀県平均 17.7

**公債費の分析値**

新庁舎建設や中央公園グラウンド整備のような合併後の大型事業の元利償還が続いており、横ばいの状況が続いていたが、平成27年度に国営筑後川下流白石土地改良事業の繰上償還のため多額の起債を行い、その元利償還が始まったことから、前年度より2.0ポイントと大きく増加した。今後も大型の起債事業に加え、平成31年度にも同様の繰上償還のための起債を行う予定であることから、今後も数値の上昇が見込まれる。



類似団体内順位 3/5 全国平均 74.8 佐賀県平均 72.6

**公債費以外の分析値**

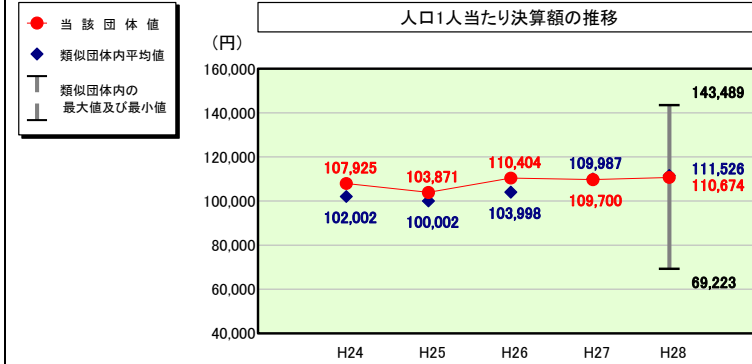
前年度より2.6ポイント増加し、類似団体内では平均を上回っている。今後も、国民健康保険、介護保険、障害福祉等の社会保障費をはじめ、下水道事業への繰出金等の増加が見込まれるが、人件費や物件費等の固定経費の圧縮を図ることに努めたい。

# (4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成28年度

佐賀県白石町

## 人件費及び人件費に準ずる費用の分析



### 人件費及び人件費に準ずる費用

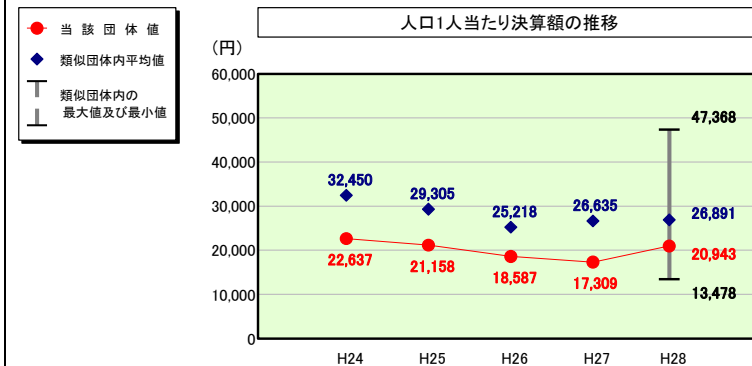
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
人件費	2,312,133	96,299	95,664	▲ 0.7
賃金(物件費)	209,902	8,742	7,132	▲ 22.6
一部事務組合負担金(補助費等)	290,267	12,089	10,401	▲ 16.2
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	-	-	1,574	-
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	-	-	-
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	86,463	3,601	5,001	▲ 28.0
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	33,502	1,395	2,001	▲ 30.3
▲退職金	▲ 274,995	▲ 11,453	▲ 10,247	▲ 11.8
合計	2,657,272	110,674	111,526	▲ 0.8

### 参考

	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	10.41	11.10	▲ 0.69
ラスパイレース指数	97.6	96.1	▲ 1.5

(注) 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。

## 公債費及び公債費に準ずる費用の分析

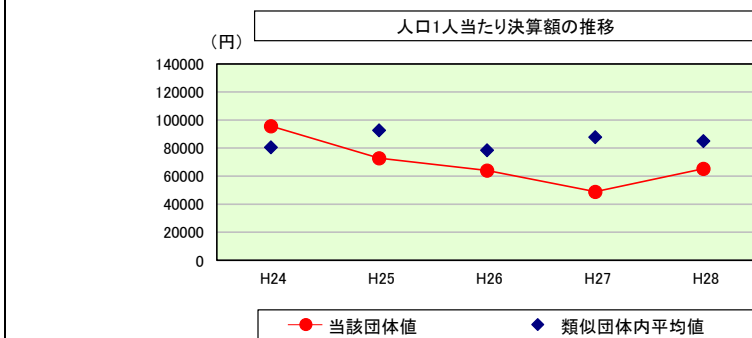


### 公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	1,581,102	65,852	78,146	▲ 15.7
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	-	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	-	-	-	-
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に 充てたと認められる繰入金	320,609	13,353	18,960	▲ 29.6
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 補助金又は負担金	36,378	1,515	2,956	▲ 48.7
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	27,923	1,163	1,839	▲ 36.8
一時借入金利子 (同一団体に於ける会計間の現金運用に係る利子は除く)	138	6	8	▲ 25.0
▲特定財源の額	▲ 12,880	▲ 536	▲ 3,053	▲ 82.4
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲ 1,450,429	▲ 60,409	▲ 71,967	▲ 16.1
合計	502,841	20,943	26,891	▲ 22.1

※平成29年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

## (参考) 普通建設事業費の分析



### 普通建設事業費

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体(円)	増減率(%) (A)	類似団体平均(円)	増減率(%) (B)	(A)-(B)
H24	2,424,369	95,708	▲ 8.2	80,577	▲ 2.1	▲ 6.1
うち単独分	628,251	24,802	▲ 13.7	36,629	▲ 11.7	▲ 2.0
H25	1,832,003	72,887	▲ 23.8	92,698	15.0	▲ 38.8
うち単独分	566,766	22,549	▲ 9.1	45,144	23.2	▲ 32.3
H26	1,585,120	64,056	▲ 12.1	78,556	▲ 15.3	▲ 3.2
うち単独分	458,403	18,524	▲ 17.9	40,810	▲ 9.6	▲ 8.3
H27	1,191,824	48,915	▲ 23.6	87,924	11.9	▲ 35.5
うち単独分	424,824	17,436	▲ 5.9	43,482	6.5	▲ 12.4
H28	1,568,391	65,322	33.5	85,078	▲ 3.2	36.7
うち単独分	683,162	28,453	63.2	45,315	4.2	59.0
過去5年間平均	1,720,341	69,378	▲ 6.8	84,967	1.3	▲ 8.1
うち単独分	552,281	22,353	3.3	42,276	2.5	0.8

# (5) 市町村性質別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

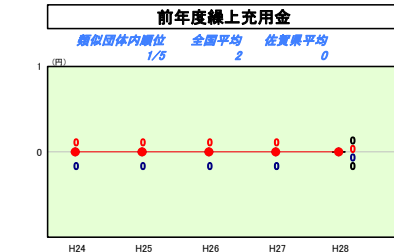
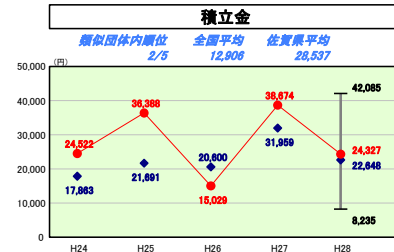
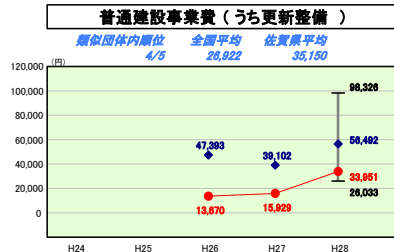
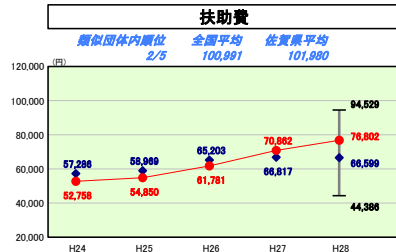
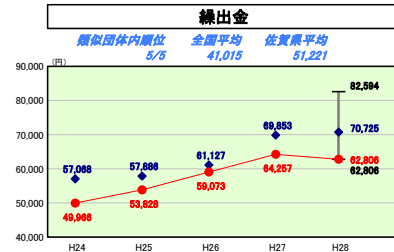
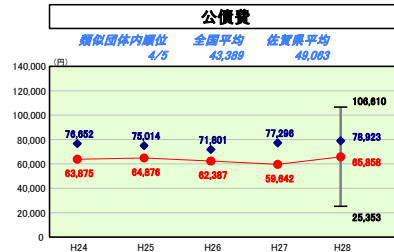
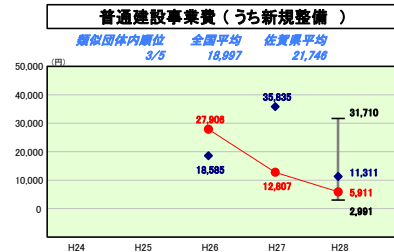
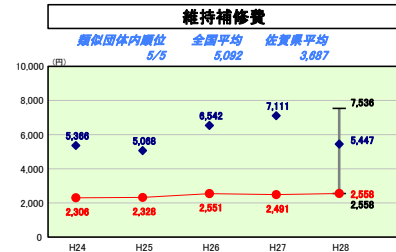
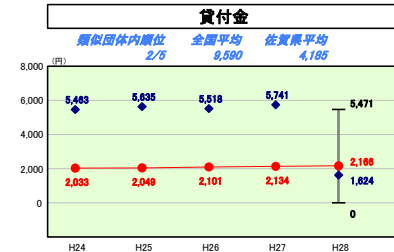
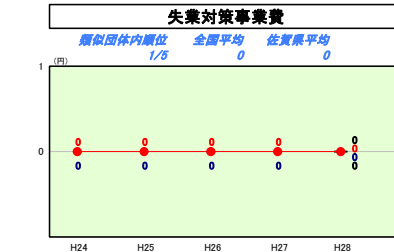
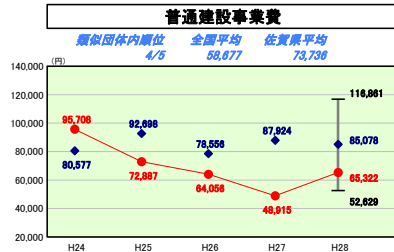
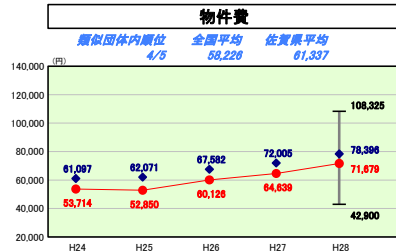
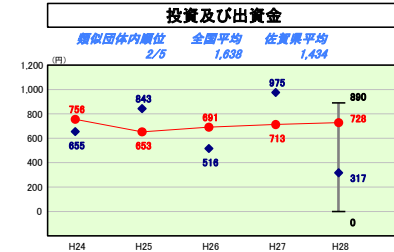
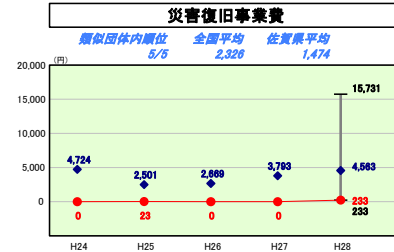
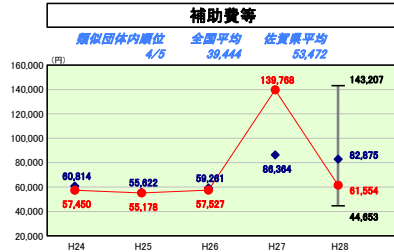
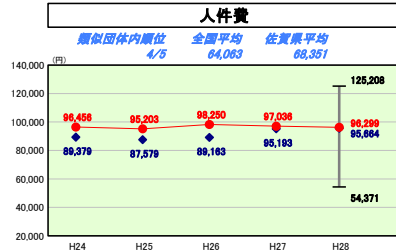
平成28年度

佐賀県白石町

人口	24,010人 (H29.1.1現在)	実質赤字比率	-%
うち日本人	23,975人 (H29.1.1現在)	通算実質赤字比率	-%
面積	99.56km <sup>2</sup>	実質公債費比率	6.9%
歳入総額	13,349,265千円	将来負担比率	4.2%
歳出総額	12,733,252千円	市町村類型	H24 V-0 H25 V-0 H26 V-0
実質収支	409,120千円	(年度毎)	H27 V-0 H28 V-0
標準財政規模	7,984,894千円		
地方債現在高	13,403,261千円		



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
 ※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。  
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成28年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



## 性質別歳出の分析

歳出決算額は、住民一人当たり530,331円となっている。  
 主な構成項目のうち、補助費等が住民一人当たり1,554円となり、前年度と比較して56%減となっている。この要因としては、前年度は国営筑後川下流白土土地改良事業の繰上償還を行ったことで歳出が大きくなったためである。しかし、平成31年度にも同様の繰上償還を行う予定としており、該年度に再び増加する見込みである。  
 普通建設事業費は住民一人当たり95,322円となり、前年度と比較して33.5%増となっている。主な要因として、農業が盛んである当町において強い農業づくりを推進するため、農業用ハウス(低コスト耐候性)導入のための補助を行ったことが挙げられる。今後、継続して行っている農道整備や新規事業の道の駅施設整備、漁港整備等、大型の事業が継続するため増加が見込まれる。  
 積立金について、平成24年度及び25年度は国営筑後川下流白土土地改良事業の繰上償還を控えていたことから減積基金への積立を積極的に行っていたが、26年度は翌年度の他事業の財源を確保するため積立を抑えることとなり減少した。また、平成27年度はふるさと寄附金が大きく増加したことにより、ふるさと基金への積立が増加したこと、公共施設整備基金の積立も行ったため、大幅に伸びた。さらに、平成28年度は再び翌年度の財源を確保するため積立を抑えることとなり減少した。

# (6) 市町村目的別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

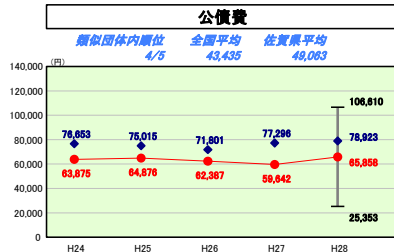
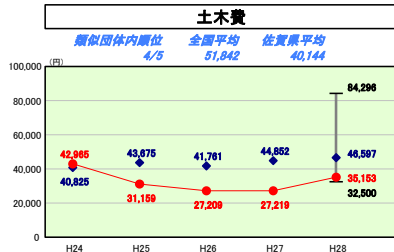
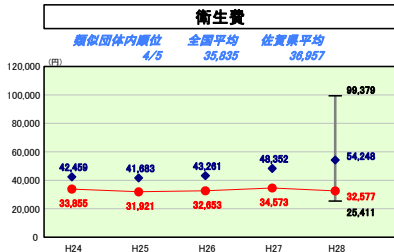
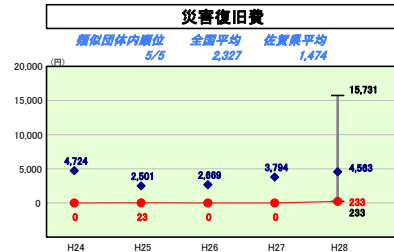
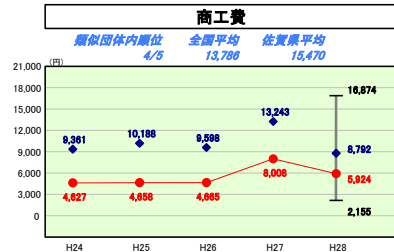
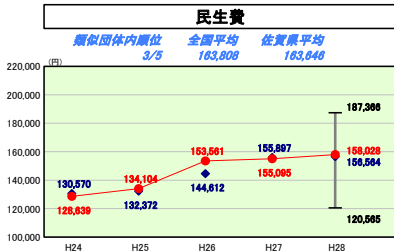
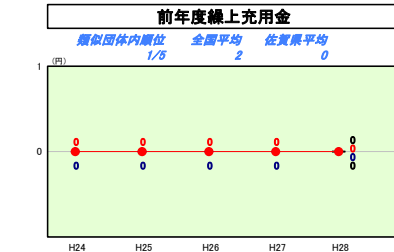
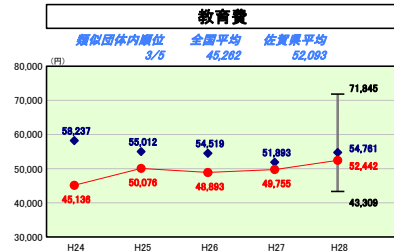
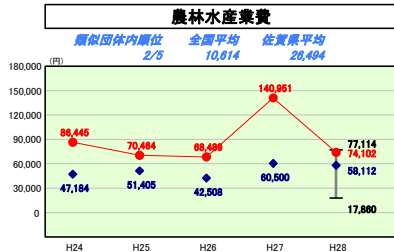
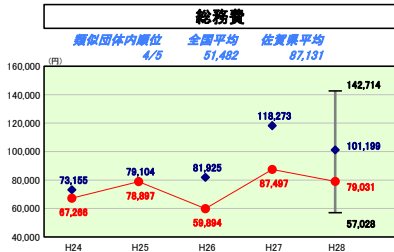
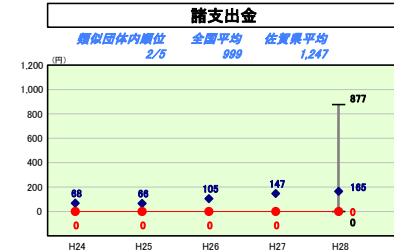
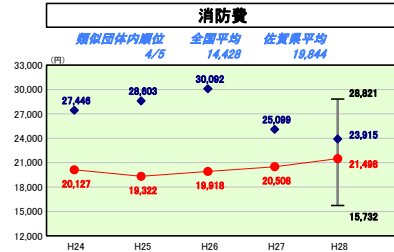
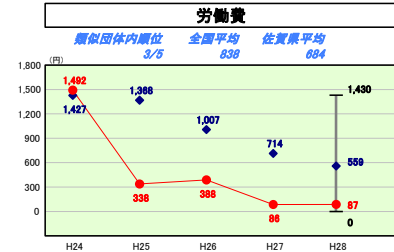
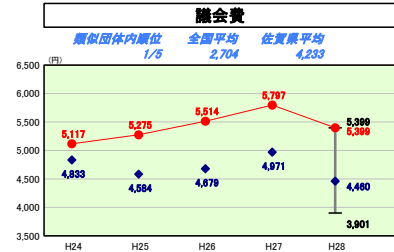
平成28年度

佐賀県白石町

人口	24,010	人(29.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	23,976	人(29.1.1現在)	通算実質赤字比率	-	%
面積	99.56	km <sup>2</sup>	実質公債費比率	6.9	%
歳入総額	13,349,265	千円	将来負担比率	4.2	%
歳出総額	12,733,252	千円	市町村類型	H24 V-O H25 V-O H26 V-O	
実質収支	409,120	千円	(年度毎)	H27 V-O H28 V-O	
標準財政規模	7,984,894	千円			
地方債現在高	13,403,261	千円			



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
 ※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。  
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成28年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



## 目的別歳出の分析概

歳出決算総額は、住民一人当たり530,331円となっている。  
 農林水産業費は住民一人当たり74,102円となっており、前年度と比較すると47.4%減となっている。この要因としては、前年度は国営筑後川下流白石土地改良事業の繰上償還を行ったことで歳出が大きくなっていったためである。しかし、平成28年度においても類似団体内では住民一人当たりコストが2番目に高くなっており、第1次産業が主体の農村地帯である当町の特徴となっている。  
 土木費は住民一人当たり35,153円となっており、前年度と比較すると29.1%増となっている。主な要因として、道路維持補修の事業費が増加したこと、また、下水道事業の進捗により起債償還額等が増加していること等が挙げられる。  
 議会費は住民一人当たり5,399円となっており、前年度と比較すると6.9%減となっている。しかし、類似団体内では住民一人当たりコストが依然として最も高い状況である。平成28年度の改選から議員定数が18名から2名減の16名となり、今後も経費の圧縮に努める。

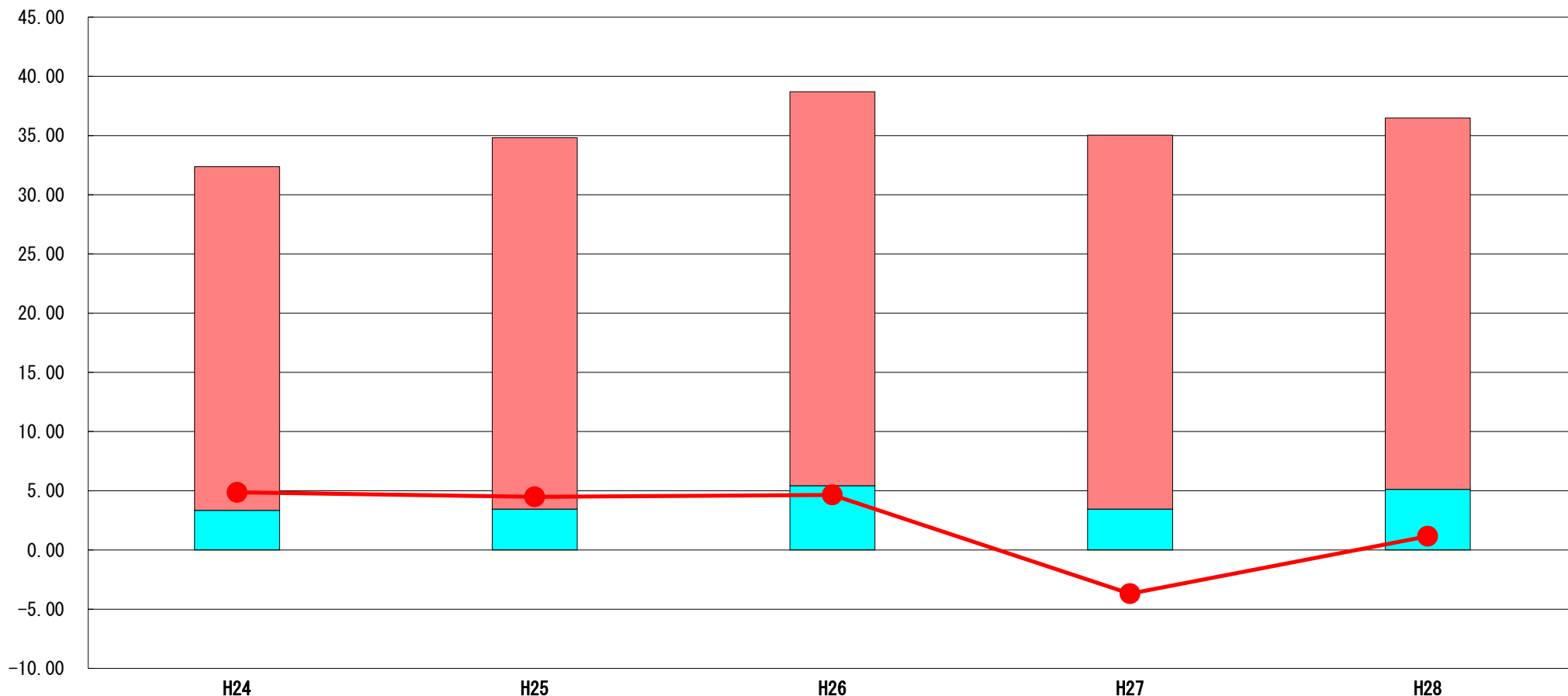


# (7) 実質収支比率等に係る経年分析 (市町村)




平成28年度

佐賀県白石町

標準財政規模比 (%)



標準財政規模比 (%)

区分	年度	H24	H25	H26	H27	H28
 財政調整基金残高		29.03	31.36	33.27	31.57	31.36
 実質収支額		3.35	3.46	5.43	3.46	5.12
 実質単年度収支		4.87	4.49	4.65	▲ 3.69	1.16

## 分析欄

平成28年度は前年度に引き続き、財政調整基金の積立額より取崩額の方が大きくなっており、財政調整基金残高の比率は0.21ポイント減少したが、実質収支及び単年度収支は黒字となった。

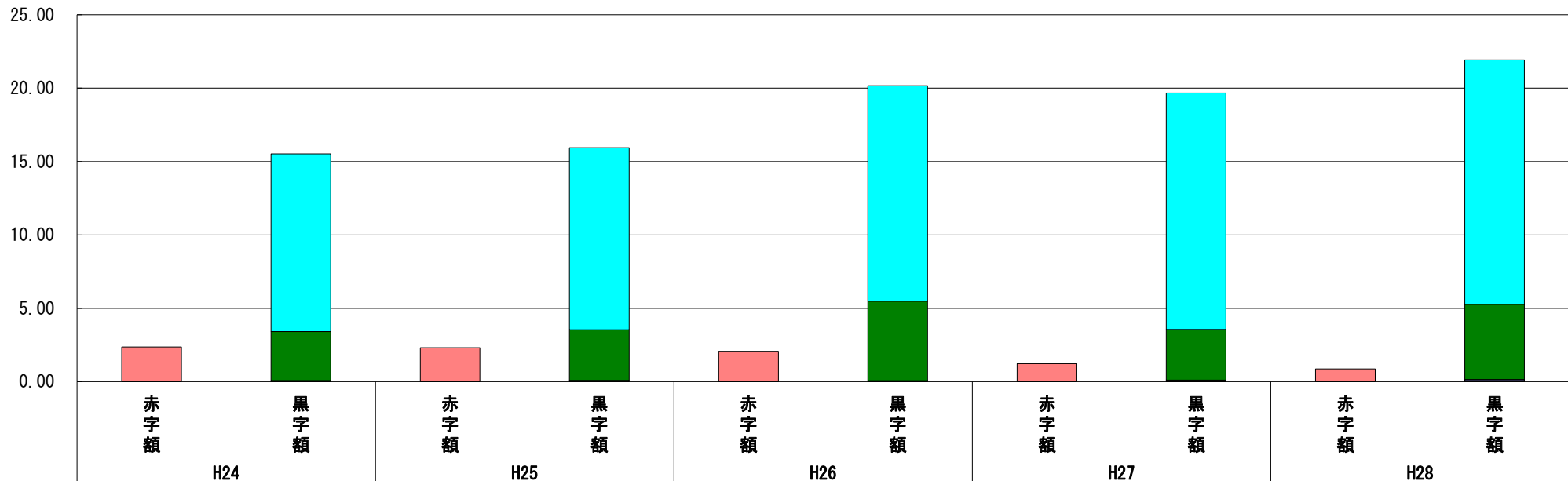
今後、一部事務組合の負担金や保育園、下水道といった事業における歳出の増加が続くことが予想される。しかし、平成27年度から普通交付税の合併算定替通減が始まったこともあり、

# (8) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析（市町村）

平成28年度

佐賀県白石町

標準財政規模比（％）



標準財政規模比（％）

会計	年度	H24	H25	H26	H27	H28
白石町国民健康保険特別会計		▲ 2.37	▲ 2.32	▲ 2.07	▲ 1.23	▲ 0.87
白石町水道事業会計		12.10	12.40	14.68	16.11	16.65
一般会計		3.34	3.45	5.42	3.45	5.12
白石町特定環境保全公共下水道特別会計		0.00	0.04	0.05	0.05	0.07
白石町農業集落排水特別会計		0.07	0.05	0.02	0.05	0.07
白石町後期高齢者医療特別会計		0.01	0.00	0.00	0.01	0.01
その他会計（赤字）		-	-	-	-	-
その他会計（黒字）		-	-	-	-	-

## 分析欄

国民健康保険特別会計については、平成21年度以降赤字が続いている。入院や高度医療に係る保険給付に加え、県の共同事業や後期高齢者支援金等の各種拠出金についても年々増加傾向にある。平成25年度から国保税の引上げとともに、一般会計からの補填を行い、収支改善に取り組んできた。平成30年度からその運営が広域化となることから、平成29年度中には一般会計からの繰入れにより赤字解消されることとなる。

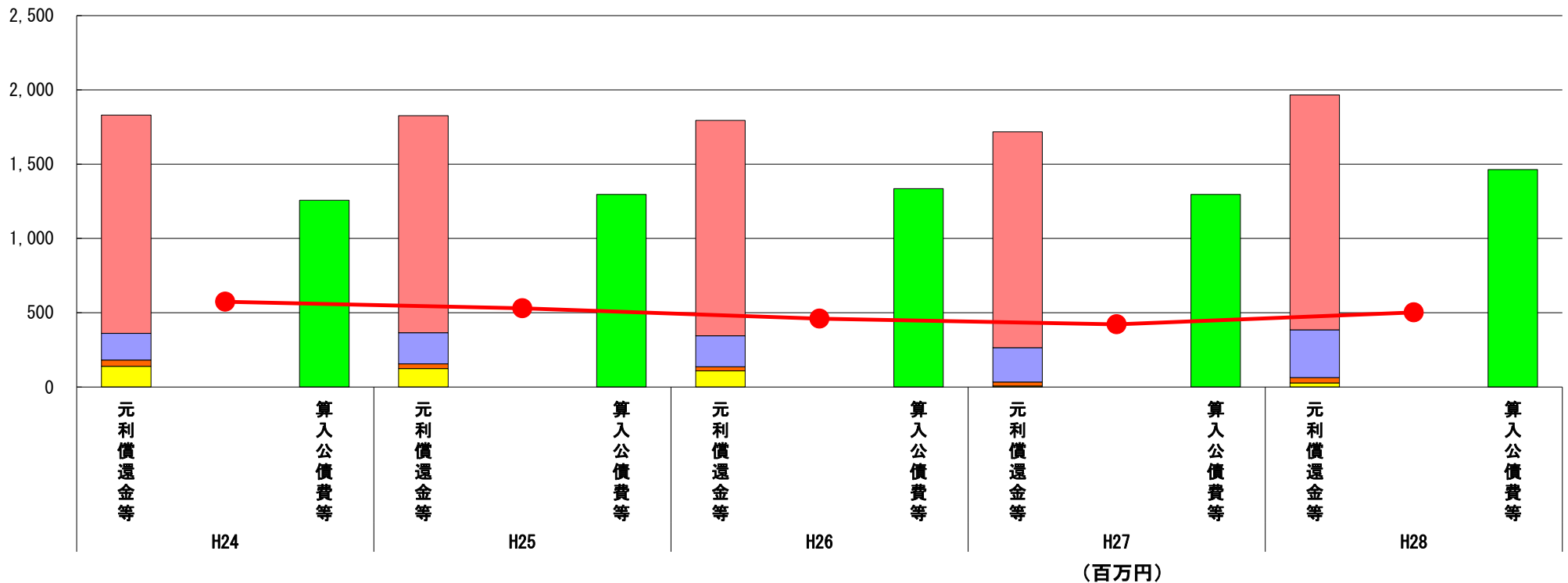
※平成29年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく連結実質赤字比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

# (9) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

平成28年度

佐賀県白石町

(百万円)



分子の構造		年度				
		H24	H25	H26	H27	H28
元利償還金等 (A)	元利償還金	1,469	1,460	1,450	1,453	1,581
	減債基金積立不足算定額	-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額	-	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金	180	210	208	231	321
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等	42	32	28	27	36
	債務負担行為に基づく支出額	140	124	109	7	28
	一時借入金の利子	0	0	0	0	0
算入公債費等 (B)	算入公債費等	1,257	1,296	1,335	1,296	1,464
(A) - (B)	実質公債費比率の分子	574	530	460	422	502

## 分析欄

平成27年度に国営筑後川下流白石土地改良事業の繰上償還のため多額の起債を行ったことにより、平成28年度の元利償還金が大きく増加した。これに伴い、算入公債費等も増加している。  
 平成31年度にも同様の起債を予定していることから、実質公債費比率は今後増加していくと見込まれる。

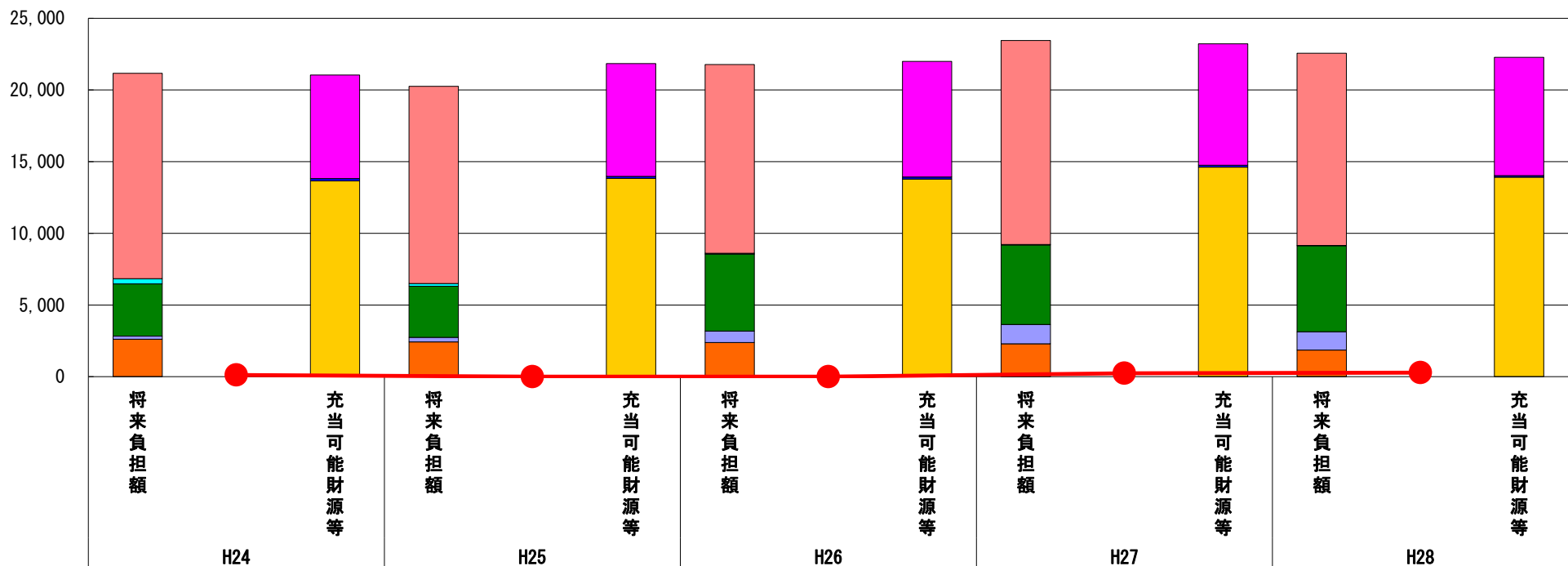
※平成29年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

# (10) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

平成28年度

佐賀県白石町

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H24	H25	H26	H27	H28
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高		14,323	13,758	13,168	14,236	13,403
	債務負担行為に基づく支出予定額		359	190	50	32	19
	公営企業債等繰入見込額		3,649	3,569	5,381	5,544	6,002
	組合等負担等見込額		215	319	790	1,342	1,280
	退職手当負担見込額		2,614	2,419	2,385	2,298	1,854
	設立法人等の負債額等負担見込額		-	-	-	-	-
	うち、健全化法施行規則附則第三条に係る負担見込額		-	-	-	-	-
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	充当可能基金		7,227	7,865	8,063	8,474	8,249
	充当可能特定歳入		162	149	136	123	110
	基準財政需要額算入見込額		13,655	13,826	13,790	14,620	13,919
(A) - (B)	将来負担比率の分子		116	▲ 1,585	▲ 215	236	280

## 分析欄

将来負担額において、一般会計等に係る地方債の現在高は、国営筑後川下流白石土地改良事業の繰上償還のために多額の起債を行ったことで平成27年度に大きく増加したが、平成28年度は減少した。一方、公営企業債等繰入見込額は、下水道事業の進捗に伴い起債償還額等が増加していることから、増加傾向にある。

充当可能財源等においては、町の方針として地方債借入額の抑制に取り組んできたことから、その元利償還の進捗に伴い、基準財政需要額算入見込額が減少した。

将来負担額の減少以上に充当可能財源等が減少したため、将来負担比率は前年度同様プラスとなった。

※平成29年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

# (11)市町村公会計指標分析／財政指標組合せ分析表

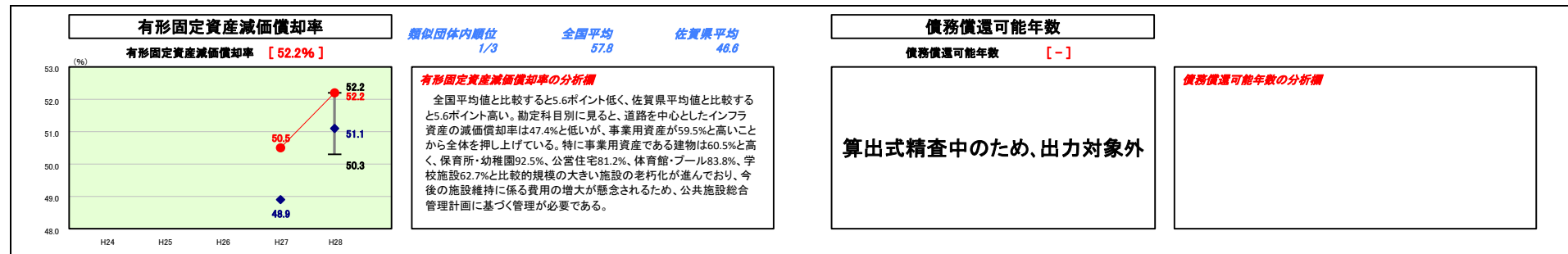
平成28年度

佐賀県白石町

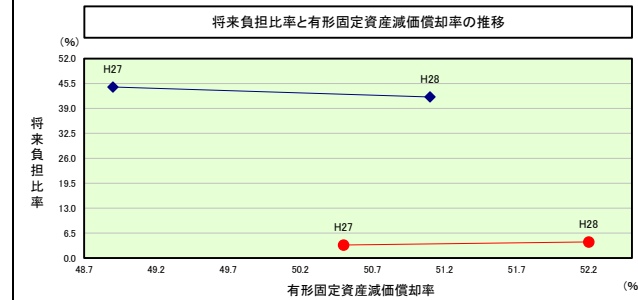
人口	24,010	人(H29.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	23,875	人(H29.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	99.56	km <sup>2</sup>	実質公債費比率	6.9	%
歳入総額	13,349,265	千円	将来負担比率	4.2	%
歳出総額	12,733,252	千円	市町村類型	H24 V-O H25 V-O H26 V-O	
実質収支	409,120	千円	(年度毎)	H27 V-O H28 V-O	
標準財政規模	7,984,894	千円			
地方債現在高	13,403,261	千円			

● 当該団体値  
◆ 類似団体内平均値  
T 類似団体内の  
最大値及び最小値

※ 有形固定資産減価償却率は平成30年1月1日時点で固定資産台帳を整備済みの団体について、数値を記載している。  
 ※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
 ※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。  
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成28年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



## 将来負担比率及び有形固定資産減価償却率の組合せによる分析

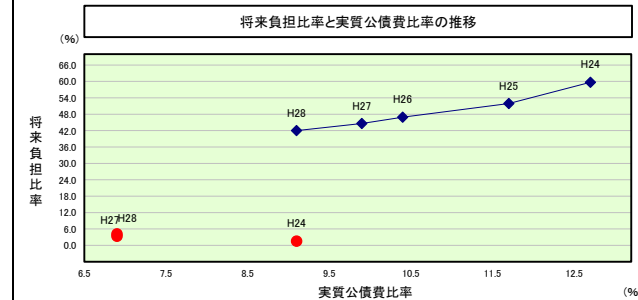


分析欄  
 地方債は、元利償還金に対する交付税率の高い借入れに限っており、将来負担比率は類似団体平均値と比較すると低いが、今後の大型事業による地方債残高の増加及び基金額の減少により比率の上昇が予想される。更には施設維持に係る費用の増加も見込まれることから大型事業の進捗と合わせて計画的な実施が必須となる。

(参考)

		H24	H25	H26	H27	H28
当該団体値	将来負担比率				3.4	4.2
	有形固定資産減価償却率				50.5	52.2
類似団体内平均値	将来負担比率				44.6	42.0
	有形固定資産減価償却率				48.9	51.1

## 将来負担比率及び実質公債費比率の組合せによる分析



分析欄  
 地方債は、元利償還金に対する交付税率の高い借入れに限っており、将来負担比率、実質公債費比率ともに低いが、今後の大型事業による地方債残高の増加及び基金額の減少により比率の上昇が予想される。  
 なお、他の分析指標と同様に、合併特例債の借入期間延長及び過疎対策事業債の適用如何が比率に影響することから今後の動向に注視が必要である。

(参考)

		H24	H25	H26	H27	H28
当該団体値	将来負担比率	1.6	-	-	3.4	4.2
	実質公債費比率	9.1	8.3	7.6	6.9	6.9
類似団体内平均値	将来負担比率	59.7	51.9	46.9	44.6	42.0
	実質公債費比率	12.7	11.7	10.4	9.9	9.1

# (12)-1市町村施設類型別ストック情報分析表①

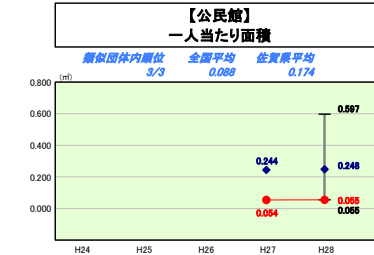
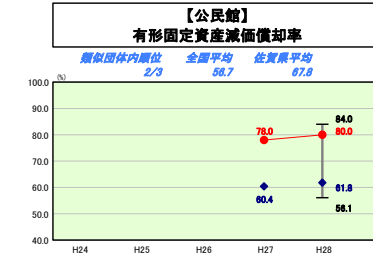
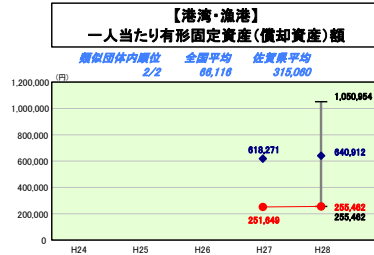
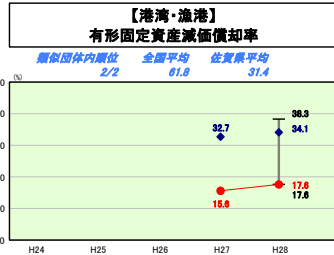
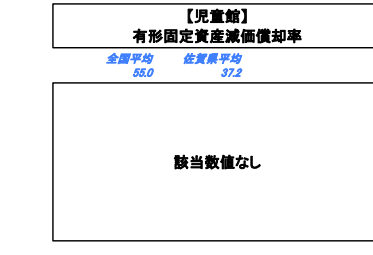
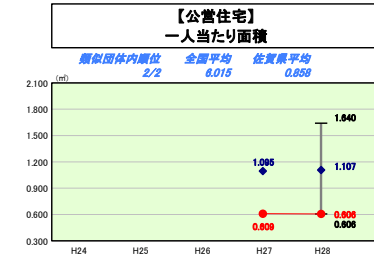
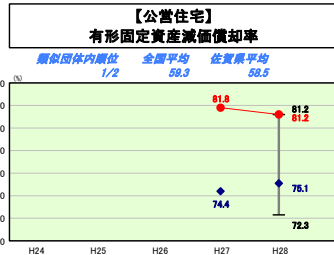
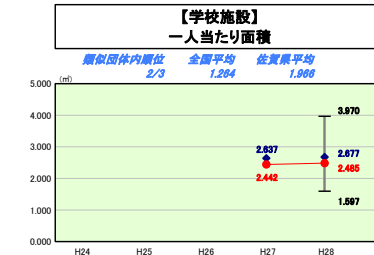
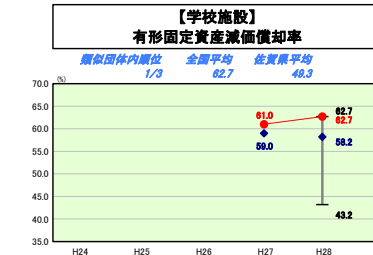
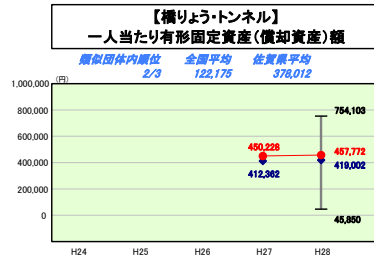
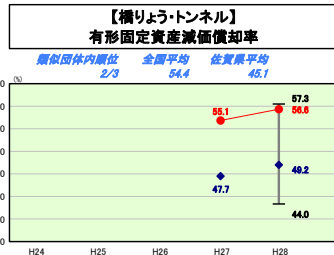
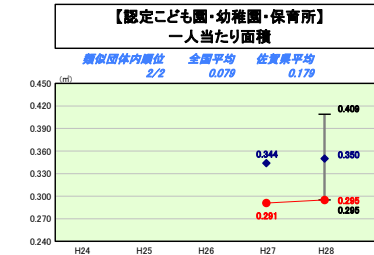
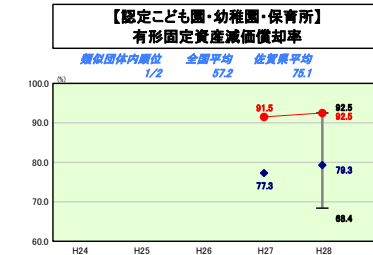
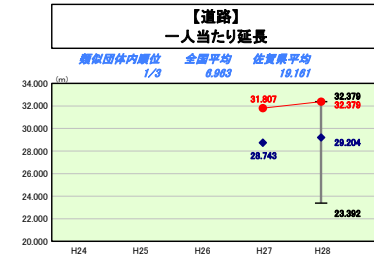
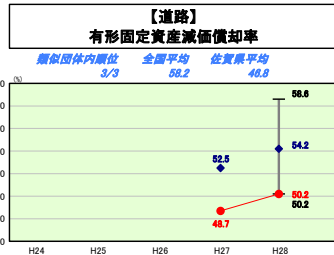
平成28年度

佐賀県白石町

人口	24,010	人(H29.1.1現在)	実収赤字比率	-	%
うち日本人	23,875	人(H29.1.1現在)	道給実収赤字比率	-	%
面積	99.56	km <sup>2</sup>	実収公費負担率	6.9	%
歳入総額	13,340,265	千円	専業負担比率	4.2	%
歳出総額	12,733,252	千円	市町村類型	H24 V-O H25 V-O H26 V-O	
実収収支	406,120	千円	(年度毎)	H27 V-O H28 V-O	
標準財政規模	7,964,694	千円			
地方債残高	13,403,281	千円			



※平成30年1月1日時点で固定資産台帳を整備済みの団体について、数値を記載している。  
 ※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
 ※住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基本日変更に伴い、平成28年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。  
 ※類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成28年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



#### 施設情報の分析

主な項目のうち、道路については、一人当たり延長が32,379mと長い一方で有形固定資産減価償却率は50.2%と低い状態にある。この要因としては、農業が盛んである当町において円滑な農業活動のため積極的に農道整備を行ったこと、路面の悪化した道路の改築修繕を計画的に行ってきたことなどが挙げられる。橋りょうについては、六角川の2橋、塩田川の2橋以外は、町内全域に亘らされた農業用水路上の小規模な橋りょうで670を超える。小規模かつ多数であり一人当たりの有形固定資産額は457,772円と類似団体内平均程度となっている。有形固定資産減価償却率は56.6%と全国・佐賀県・類似団体内平均と比較しても高いが、その数が多いため健全度が悪化した橋りょうを優先し計画的に維持補修を行っている。

公営住宅については、老朽化した戸建て住宅から随時取り壊していることもあり、有形固定資産減価償却率は前年比で0.6ポイント減少しているが81.2%と高い状態にある。老朽化による取り壊しが進む一方で、それに代わる新たな公営住宅のあり方を検討する必要性が生じている。

漁港施設については、合併後に供用開始した新有明漁港の施設が大半であるため、有形固定資産減価償却率は17.6%と低い状態にある。平成28年度から住/江漁港の整備に着手しており、今後は有形固定資産減価償却率は抑えられるもの一人当たりの有形固定資産額は上昇する見込みである。

保育所については、昭和52年から随時建設された園舎であるため、有形固定資産減価償却率は32.5%と高い状態にある。平成30年度から公設7保育園のうち6園を随時民営化する予定であり、平成33年度には園舎は1か所となる予定で一人当たり面積は減少するものの、有形固定資産減価償却率は引き続き高い状態と見込みである。

# (12)-2市町村施設類型別ストック情報分析表②

平成28年度

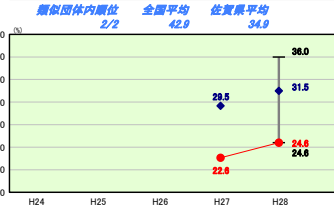
佐賀県白石町

人口	24,010	人(H29.1.1現在)	実収赤字比率	-	%
うち日本人	23,875	人(H29.1.1現在)	通称実収赤字比率	-	%
面積	99.56	km <sup>2</sup>	実収公債費比率	6.9	%
歳入総額	13,340,265	千円	将来負担比率	4.2	%
歳出総額	12,733,252	千円	市町村類型	H24 V-O H25 V-O H26 V-O	
実収収支	409,120	千円	(年度毎)	H27 V-O H28 V-O	
標準財政規模	7,964,694	千円			
地方債残高	13,403,281	千円			

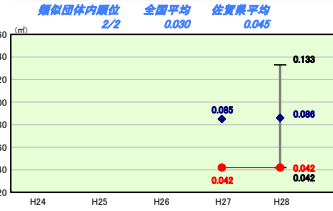
● 当該団体値  
◆ 類似団体内平均値  
┆ 類似団体内の最大値及び最小値

※ 平成30年1月1日時点で固定資産台帳を整備済みの団体について、数値を記載している。  
 ※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
 ※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基本日変更に伴い、平成28年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。  
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成28年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。

【図書館】  
有形固定資産減価償却率



【図書館】  
一人当たり面積



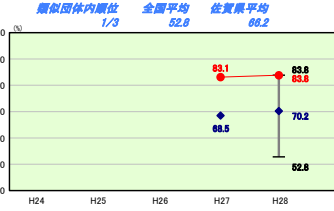
【一般廃棄物処理施設】  
有形固定資産減価償却率



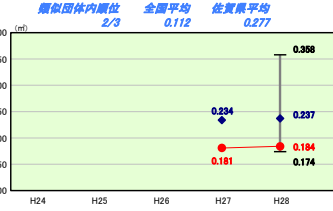
【一般廃棄物処理施設】  
一人当たり有形固定資産(償却資産)額



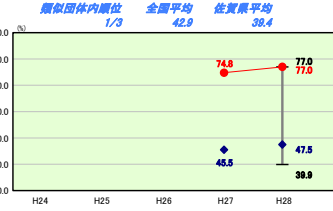
【体育館・プール】  
有形固定資産減価償却率



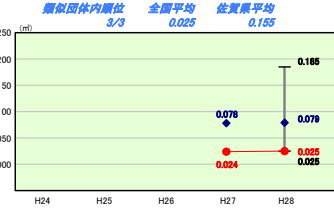
【体育館・プール】  
一人当たり面積



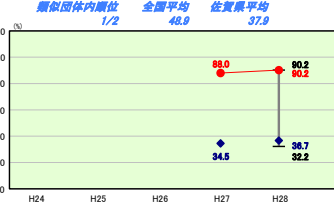
【保健センター・保健所】  
有形固定資産減価償却率



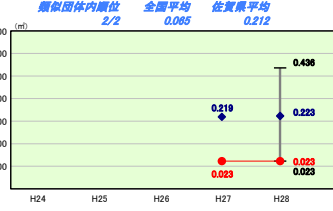
【保健センター・保健所】  
一人当たり面積



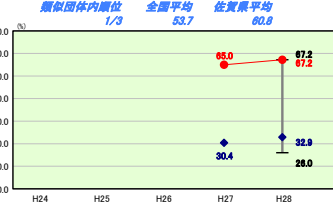
【福祉施設】  
有形固定資産減価償却率



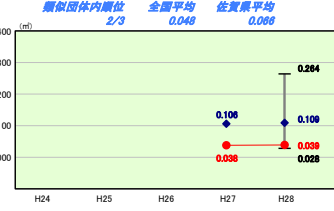
【福祉施設】  
一人当たり面積



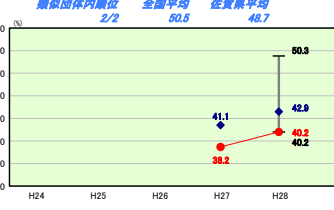
【消防施設】  
有形固定資産減価償却率



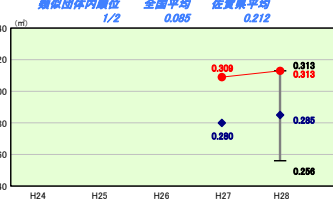
【消防施設】  
一人当たり面積



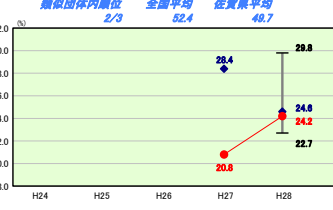
【市民会館】  
有形固定資産減価償却率



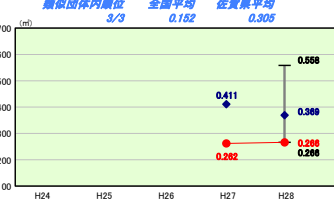
【市民会館】  
一人当たり面積



【庁舎】  
有形固定資産減価償却率



【庁舎】  
一人当たり面積



施設情報の分析

主な項目のうち、体育館・プールについては、有形固定資産減価償却率が体育館3か所85.7%、プール1か所67.4%、両施設合わせて83.8%と高い状況にある。一人当たり面積は0.184m<sup>2</sup>と佐賀県・類似団体内平均を下回っている。また、学校施設の補完の役割もあるため修繕による維持を図っているが、学校のあり方次第で両施設のあり方も検討する必要がある。  
 市民会館については、合併前の旧3町それぞれに設置されていたため、一人当たり面積は0.313m<sup>2</sup>と全国・佐賀県・類似団体内平均を上回っている。有形固定資産減価償却率は40.2%と低い値であるが、施設の規模が大きいため経年と共に修繕費の増大も予想され、点検・診断の確実な実施とそれをふまえた予防保全型維持管理が必要である。  
 庁舎については、合併により旧2庁舎を除却、1庁舎を用途変更し新たな庁舎を建設したため、有形固定資産減価償却率は24.2%、一人当たり面積も0.266m<sup>2</sup>と低い状況にある。施設の規模が大きいため経年と共に修繕費の増大も予想され、点検・診断の確実な実施とそれをふまえた予防保全型維持管理が必要である。